

【地域の概要】

【地域名】島根県出雲市

【関係市町村等】出雲市

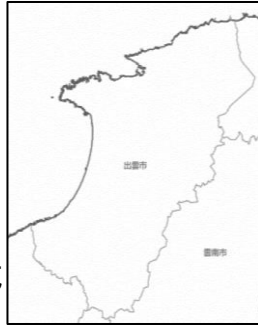
【関係機関】島根県、出雲市トキによるまちづくり推進協議会を構成する関係各団体

【自然環境等】

本地域は、島根県の東部に位置し、大正時代までトキが生息していたことが各種文献により確認されている。

本地域は、面積が約62,400haであり、そのうち、耕作地、林野、河川、湖沼などが約76%を占める自然豊かな地域である。

中央部には一級河川である斐伊川水系、また、北東部にはラムサール条約登録湿地である宍道湖を有し、コハクチョウやマガン、コウノトリなどの鳥類の飛来も多く確認されており、大型水鳥が安定的に生息可能な環境であると考えられる。



【取組内容及び取組方針】

本地域においては、出雲市トキによるまちづくり推進協議会を構成する島根県や関係各団体等と連携しながら、2030年までにトキの野生復帰が実現可能な状態になることを目指し、「市民の環境意識の向上」・「環境にやさしい農業の普及」・「豊かな生態系の再生」・「人的交流の活性化」・「地域産業への波及」の5つを基本目標とした施策を実施していくこととしている。

トキの採餌環境や生息環境の潜在性を把握するための基礎調査を行い、その結果を踏まえて、環境配慮型農業の普及や森林環境の保全等の取組を推進し、トキの生息環境を整備していく。また、地域住民のトキに対する認知度を底上げするなど、普及啓発の強化を図り、地域全体でトキを受け入れることができる社会環境の整備を行っていく予定である。



【取組を通じて目指す地域の姿】

出雲市トキによるまちづくり推進協議会が策定した「出雲市トキによるまちづくり構想」では、トキと共生する里地づくりの取組を通して、トキの野生復帰が実現するだけでなく、環境配慮型農業が定着し豊かな里地里山の景観がよみがえることで、トキも人も、すべての野生動植物が共生できる、持続可能な環境先進都市として、市民が誇りを持って暮らすことのできる出雲市になることを目指している。

